

目指すべきまちづくり 作成の背景

基本構想策定方針
策定にあたっての基本的な考え方

〇考え方1：都市経営の視点によるまちづくり

財政健全化の必要や人口減少の影響から限られた「ヒト・モノ・カネ」などの経営資源を効率的、効果的に投資するといった、これまで釧路市が取り組んできた都市経営の概念は、地方都市を取り巻く社会情勢の変化に対応するために重要です。これまで進めてきた「域内循環」や釧路の強みを活かした「外から稼ぐ」取組の一層の推進により、地域経済の基盤を強化し、釧路らしいビジネスの創出、発展による雇用機会の拡大を図るなど、さらなる「都市経営」の視点によるまちづくりを目指し策定します。

〇考え方2：将来に希望をもてる釧路らしいまちづくり

人口減少は、地域経済の縮小、人材不足による生産力の低下を招き、さらなる人口減少を加速させることになり、地域に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。特に釧路市は若い世代の就職や進学を理由とした社会減が顕著であり、次世代を担う若者の「働きたい」「住みたい」「帰ってきたい」希望がかなうまちづくりや、安心して子どもを産み、育てることができるまちづくりを目指し策定します。

〇考え方3：強くしなやかで活気あふれるまちづくり

ひがし北海道の拠点都市として、平時から大規模自然災害などの非常時も見据えつつ、幅広い分野で都市の機能を高めます。
全ての市民が健康に暮らし、活躍できる活気あふれるまちづくりを目指し策定します。

〇考え方4：自然と共生し、ひとにやさしく、ふるさと釧路を大切に にするまちづくり

太古から続く豊かな自然環境と共生し、再生可能エネルギーや石炭といった地域が有する資源の有効活用を図り、ひとにやさしく、先人たちの築いたふるさと釧路の魅力を高め、次世代の人々が誇りと愛着をもてるまちづくりを目指し策定します。

〇考え方5：市民と協働したまちづくり

釧路市まちづくり基本条例第5条では「市民と市は相互理解のもと協働すること」と規定されています。今後のまちづくりの指針としての釧路市まちづくり基本構想では市民の意見を広く採り入れることが重要であるため、市民参加の機会の充実に努め策定します。

これまでの重点的な取組

1 総合計画

⇒環境・交流都市の取組は引き続き重要なテーマ

- ・釧路市は、恵まれた豊かな自然環境の保全に取り組み、地域のイメージアップを図るとともに、安全な食を提供する地域としての取組を進めてきています。
- ・環境については、アンケート調査からも地域の強みを自然環境や気候と感じている市民が多く、引き続き重要な課題として認識されています。
- ・また、釧路市は交通・物流の拠点として、地域外との交流による産業の活性化を図るとともに、都市の魅力さをさらに高め、交流人口の増加に努めています。
- ・交流についても、交流人口の拡大に向けた観光振興や長期滞在など今後10年間に取り組むべき課題となっています。

2 都市経営戦略プラン

財政健全化推進プラン
市役所改革プラン
政策プラン

- 実践ビジョン①：地域資源の価値を高め域内循環させる地域経済
ビジョン②：地域を担う人材の育成と雇用
ビジョン③：みんなが安心して暮らせる都市づくり
ビジョン④：世界に開き東北北海道をつなぐ戦略的拠点都市

⇒都市経営の視点の承継

限られた経営資源を効率的、効果的に投資するといった「都市経営」の理念は、今後の市政運営においても重要な視点であり、3つのプランで構成する「都市経営戦略プラン」を今後も推進します。市長からのメッセージや職員研修等を通して、改めて「都市経営戦略プラン」を策定するまでに至った背景や「都市経営」の意義の庁内共有を図るとともに、「都市経営」を推進する上で、3つのプランがバラバラではなく連動させることの意義を改めて認識し、3つのプランを共鳴させることで、さらなる「都市経営」価値の向上を目指します。
(都市経営戦略プランフォローアップとりまとめ より)

3 まち・ひと・しごと創生総合戦略

4つの重点戦略

- 重点戦略①：「『わかもの』の希望がかなうまち・くしろ」
重点戦略②：「『女性』の希望がかなうまち・くしろ」
重点戦略③：「すべての人の『住み続けたい』という希望がかなうまち・くしろ」
重点戦略④：「『来たい・住みたい』と思えるまち・くしろ」

⇒人口減少社会への対応（若者の希望）

釧路市の人口減少は自然減よりも社会減の影響が大きく、子育て環境の充実など、出生率の向上に向けた取組はもちろんのこと、特に「社会減」に歯止めをかけ、子どもを生み育てたいという希望を持つ若い世代の釧路への定着が、急激な人口減少に歯止めをかける上で最も重要であり、「域内循環」や「外から稼ぐ」取組の一層の推進などにより地域経済の基盤を強化し、雇用機会の拡大を図るとともに、安全・安心なまちづくりの推進などにより親になる世代の定着を図ります。あわせて、たくさんの人に来てもらい、住んでもらえるよう、取組を進めます。
(まち・ひと・しごと創生総合戦略 より)

アンケート調査

(1) 地域の強み・弱み (全13項目中)

	地域の強み		地域の弱み	
	項目	割合	項目	割合
市民アンケート	気候・風土	51.5%	産業	34.1%
	自然環境	50.2%	まちの景観	27.7%
			観光スポット	22.8%

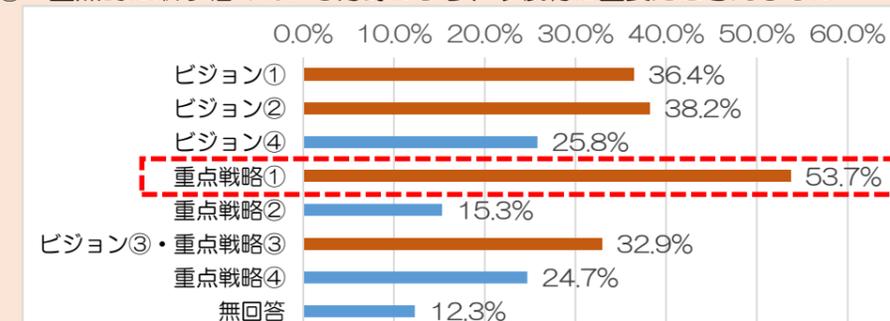
(2) 重点的に取り組むべき項目

① 重点的に取り組むべき項目 (全36項目中)

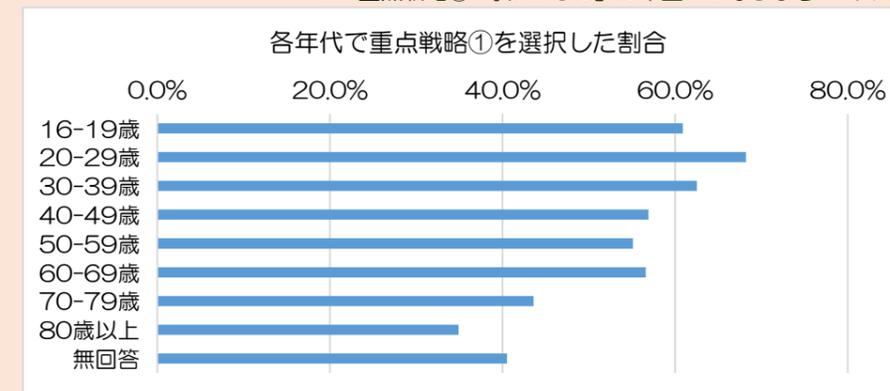
	市民アンケート	企業アンケート	各種団体アンケート
今後重点的に取り組むべきだと考える分野	1位 魅力ある都市づくり	1位 魅力ある都市づくり	1位 観光・交流の振興
	2位 雇用対策の推進	2位 雇用対策の推進	2位 魅力ある都市づくり
	3位 高齢者福祉の充実	3位 中小企業の振興	3位 雇用対策の推進

中学生アンケート	
釧路市が力をいれるべきだと考える課題	1位 自然を守る 1位 お店を増やし、にぎわいのあるまちにする 3位 もっと観光客が来るようにする

② 重点的に取り組んでいる分野のうち、今後特に重要だと考えるもの



※ 重点戦略①：『わかもの』の希望がかなうまち・くしろ



市民・企業・団体アンケートを合算して作成

(3) 各種アンケート調査等自由意見から (回答数 1,136 件)

分野	若者	高齢者	観光交流	雇用	子育て
検索ワード	若/次世代	高齢/老人	観光/交流	雇用/働く	子育て
検索ワード数	186	114	214	70	46
割合	16.4%	10.0%	18.8%	6.2%	4.0%